

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、みさきは学校でつくった折り紙を、大事につくえの上に置いていました。

色をえらび、なんどもおり直して、やっとできた作品だったからです。

「あとでお母さんに見せよう」と思い、こころがすこしうれしくなりました。

、休み時間に教室にもどると、つくえの上の折り紙がありません。まわりを見ると、となりの席のりくが、その折り紙を手にもっていません。

みさきは、「かっさにさわられた」と思い、むねがきゅっとしました。

「なんでさわるの」とつよいこえでいってしまいました。びっくりしたかおで、「こわれていないか見てただけだよ」といいました。

でも、みさきはすぐにそのことばをしんじることができず、しばらくだまってしまいました。

教室にもどるまで、こころがもやもやしていました。

そのあと、先生が二人の話をきいて、「たがいにことばがたりなかっただけだね」といいました。

みさきは、もう一ど折り紙を見て、こわれていないことに気づきました。

そして、「つよいい方をしてごめんね」といいました。

りくも、「かっさにさわってごめん」といいました。

みさきは、さっきまでのもやもやがすこしずつなくなり、えがおになりました。



(1) 文中にある に当てはまる言葉として、正しいものを選び番号をまるでかこみましよう。

- ① ところが
- ② そして
- ③ さらに

(2) 先生の話を読み、折り紙がこわれていないことに気づいたとき、みさきの気もちはどうかわりましたか。文の内容にそって書きましよう。



(3) さいに、みさきのもやもやがすこしずつなくなり、えがおになったのは、なぜですか。文の内容にそって書きましよう。



1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、みさきは学校でつくった折り紙を、大事につくえの上に置いていました。

色をえらび、なんどもおり直して、やっとできた作品だったからです。

「あとでお母さんに見せよう」と思い、こころがすこしうれしくなりました。

、休み時間に教室にもどると、つくえの上の折り紙がありません。まわりを見ると、となりの席のりくが、その折り紙を手にもっていません。

みさきは、「かっさにさわられた」と思い、むねがきゅっとしました。

「なんでさわるの」とつよいこえでいってしまいました。

りくは、びっくりしたかおで、「こわれていないか見てただけだよ」といいました。

でも、みさきはすぐにそのことばをしんじることができず、しばらくだまってしまいました。

教室にもどるまで、こころがもやもやしていました。

そのあと、先生が二人の話をきいて、「たがいにことばがたりなかっただけだね」といいました。

みさきは、もう一ど折り紙を見て、こわれていないことに気づきました。

そして、「つよいい方をしてごめんね」といいました。

りくも、「かっさにさわってごめん」といいました。

みさきは、さっきまでのもやもやがすこしずつなくなり、えがおになりました。



(1) 文中にある に当てはまる言葉として、正しいものを選び番号をまるでかこみましよう。

- ① ところが
- ② そして
- ③ さらに

(2) 先生の話を書き、折り紙がこわれていないことに気づいたとき、みさきの気もちはどうかわりましたか。文の内容にそって書きましよう。

解答例) あんしんして、こころがすこしかるくなった

(3) さいごに、みさきのもやもやがすこしずつなくなり、えがおになったのは、なぜですか。文の内容にそって書きましよう。

解答例) 先生の話を書きいて、りくがこわしていないことがわかり、誤解がとけた